

日本脊椎脊髄病学会 平成 24 年度第 3 回国際委員会議事録

日時：平成 24 年 10 月 31 日（木）17 時～18 時

場所：神戸国際会議場 4 階 406

出席：松山幸弘理事、湯川泰紹委員長、金山雅弘、川原範夫、小西宏昭、田中雅人、豊根知明、
根尾昌志、長谷川和宏 各委員

岩崎幹季、富士武史 各アドバイザー

欠席：矢吹省司委員、岩波明生アドバイザー

議題

1. 学術集会時の English Poster Award について

63 演題の応募があった。審査の流れについて湯川委員長より説明があった。採用演題数については一般応募演題の採用率（約 60%）と同様に 40 演題程度とし、ポスター設置スペースを学術集会事務局に要望する。

2. 第 42 回学術集会の招聘予定者と役割

Dr. Tzai-Chiu Yu（台湾、Taiwan Spine Society 2013 会長）に 2013 年 4 月 25 日（木）の 15:00 から 1 時間の講演をお願いする。Prasad Shetty（インド）は不参加のため、Dr. Ajoy Dr. Wong Yat Wa（香港）、Dr. Chang Bong-Soon（韓国）、Dr. Rahyus Salim（インドネシア）、Dr. Gabriel Liu（シンガポール）の 4 名の先生に 2013 年 4 月 25 日（木）の 15:00～15:55 にそれぞれ 12 分程度の講演（ショートトーク）と English Poster の座長をお願いする。

3. 学術集会時の晩餐会について

学術集会主催校で海外の招聘者を招いた晩餐会が行われれば、国際委員会としてはとくに設定しない。主催校で晩餐会の予定がなければ、国際委員会で企画を検討する。

4. 平成 24 年度寄附実績 経過報告

ほぼ例年通りの寄付額が集まった。今後も各企業に寄付の継続（+増額）と新規の寄付のお願いを行っていく。

5. 平成 25 年度 Asia Traveling fellow、Visiting Scholar の選考

受付は 11 月中に行い、国際委員会委員が分担し 12 月に審査を行う予定である。

審査方法：申請者の履歴書と論文 5 編を基に選考し、上位 12 名（スカラーは 2 名）を決定する。

来年度より、応募書類は電子ファイル（履歴書、論文ともに PDF ファイル）とする。

6. その他

松山担当理事より、Traveling fellow について訪問施設をアジアのみでなく欧米にも範囲を広げるかどうかについて審議してほしいと持田理事長より打診があったことが報告された。

「訪問施設が固定されており施設を増やしていく必要はある」、「過去のフェローの先生方の評

価は高く、また北米への訪問は日本整形外科学会のフェローシップでも行われているため、JSRSでは従来どおりアジアのみでよいのでは」などの意見が述べられ、検討を継続していくこととなった。

また、今後の国際委員会の役割として、①学術集会が学会本部主導となるのに伴い、学会長の意向を反映しながら海外からの招待講演者の選定について積極的に関与していくべき、②関連する委員会と連携しながら学会誌 JSR の国際化をすすめていくべき (PubMed に載る雑誌とするため抄録の英文化、アジア各国への PR など)、③Spine Across the Sea への関与と財政面での透明化、④アジア各国から若手医師の travelling fellow として受け入れを行うか? などの意見も出された。松山担当理事より今後の方向性について理事会で提案し、理事会の方針に沿って委員会として検討を始めることとなった。

7. 次回委員会開催について

次回委員会： 2013年1月17日 20:00～ ホテル日航東京

次々回委員会： 2013年4月25日 7:30～ 学術集会開催時